



樹妙だより

No.218 2025/8.9



校外学習 (1年生)

慈 悲 喜 捨

夏になると、日本では幽霊や妖怪などの様々な逸話が紹介されます。幽霊は、人間の死霊で、特定の人を対象として現れます。現れる場所は特に選ばず、現れる時間は丑三つ時（午前2時前後）が定説になっています。

一方、妖怪は、人間以外の精霊や死霊などの「ものの怪（もののけ）」です。現れる場所は山、川、古屋敷など、ほぼ決まったところになるということです。妖怪が出現する時間を「黄昏時（たそがれどき）」と言います。昔の日暮れ時は、薄暗くて人の顔が見えにくかったので、「誰だ、あれは」という意味で「誰そ彼（たそかれ）」と言ったことから夕暮れ時を指すようになったということです。

幽霊や妖怪は、お盆の前後に出ることが多いといわれていますが、それについて菩提寺の住職様にお話を聞きいたことがあります。お盆は、7月13日の迎え盆から、15日の中日、16日の送り盆と、先祖の霊を家に迎えて御供養します。お盆に迎える霊は、「本仏（ほんぶつ）」、「新仏（あ

らぼとけ）」、「無縁仏（むえんぼとけ）」に分けられ、供養の仕方が違うということです。

本仏は祖霊なのですぐに仏壇へ招聘（しょうへい）し、新仏は成仏できずに彷徨（さまよ）える霊なので座敷や縁側に別の祭壇を設けて祀（まつ）り、無縁仏は、悪い霊になることもあるので庭に餓鬼棚を設けて供養するということです。

そして、昔の人は、この世に思いを残して死んだ霊がきちんと祀（まつ）ってもらわず、蔑ろにされた思いが幽霊に変化すると考えていたということです。だから、「うらめしや〜（恨めしい）」といいながら登場して来るのです、とご住職様は笑いながら話されていました。

今年もお盆がやってきます。私たちが今ここに在るのは、幾多の天災、人災の中でご先祖様が命を繋いでくださったおかげです。「お蔭様」ということにあらためて感謝して、手を合わせて供養させていただきます。

教頭 金安伸一



樹徳高等学校長
野口秀樹

今年は特別暑い夏・・・。
この所、毎年同じような
ことを言っているような気
が致します。暑い夏にこん
な歌がございました。

「 朝顔につるべとられて もらい水 」

江戸時代中期の女性の俳人 加賀千代女の句でございます。早朝のすがすがしい空気感や美しい朝顔によせる優しさが感じられる素敵な句です。暑さにイライラせず、こんな豊かさでこの夏を楽しみたいと思います。

本校の各教室には日めくり暦がかけられています。あるとき、日めくり心の暦に「生かされている私」というものがありました。誰でも毎日努力をして生きているのですから、自分の力で生きているつもりであります。でもよく考えみるとこの言葉「生かされている私」は否定できないのであります。なぜなら私はお米一粒でも自分で作ることができないのです。そして何かの命を頂かなければ私は生き続けることができないのであります。

明治生まれの澤木興道という禅宗の有名な和尚さんがおりました。その方が「天地いっばいの命」と自分の命のこと申しております。「天地いっばいの命」、いい言葉だと思いませんか、元気がでる言葉だと思えます。天地が総力を挙げて私を生かしてくれているそんな意味であります。まずは適当な濃度の空気、大地から湧き出すお水、太陽と大気が与えてくれる気温、大地が生み出す作物、これら全てが天地の働きであります。これらのどれか一つでも欠けてしまうと私たちは生き続けることができない。たしかに総力を上げてくれている。

昔『ミクロの決死圏』という映画がありました。人間の体をミクロにして脳出血で意識不明になった科学者の体の中に医療チームが侵入して手術をするのです。人間の体が小さくなっていられる時間はたった1時間、そんなアメリカ映画でした。私達人間の体は本当に不思議で、驚く程うまく創られています。たとえば腸ひとつをとってみても、腸管の表

面積は約 200 平方メートル（60 坪）といわれるほど広いのです。ここに 100 種類以上、100 兆個にも及ぶ細菌が生息している。多くは大腸にいるのだそうです。これが腸内細菌といわれるものですが、この腸内細菌の集団は、人間に害を及ぼすどころか、人に良い効果を与えてくれております。たとえば病原細菌の侵入を防いだり、それらの増殖を抑えたり、腸内に入ってきたよそ者の細菌を排除するのだそうです。そして免疫力を強めたり、血液を固めたりするのに必要なビタミンKなども作ってくれる。腸内の様々な細菌は肩を寄せ合うように生息し、良いバランスを保っている（順天堂大学医学部特任教授奈良信雄先生の記事より）。

私たちは耳が2つありますが音を聞くときは利き耳で聞くのだそうです。利き耳でない方から入ってくる音は、脳の中で「捨てて」しまっている。利き耳以外からの音は脳に取り込まないようになっているのだそうです。もしも両耳に同じ強さで音が入ってくると、両耳マスキング認知現象といって、言葉の意味が聞き取りにくくなってしまう。両耳で音を聞こうとするのは周囲の気配を知ろうとするときだけ。この現象は視覚についてもいえるのだそうです。

本を読むときもっぱら利き目だけで文字を追っているのだそうです。自分の利き目を見つけるのは、どちらかの目をつぶって、視野が変化しない方の目が利き目。もう片方の目から入った刺激は、脳によって知的な情報として認知されないため、見過ごされてしまうのだそうです。ところが街を歩いたり、スポーツをしている時には、両目を使って周囲の環境を察知しようとする。私たちの体の中で2つあるものは同様な働きをしているのかと思ったらそうではなかった。

これも体の一部の機能ですが、いたるところで私を生かしめるためにすべての臓器が不思議な動きをしてくれている。そうそう私が眠りこけている間も、心臓は休まず動いてくれている。

間違いなく自分以外の大きな力によって生かされておりますね。本当にありがたいのであります。

合掌

インターハイ予選 主な結果

◆男子卓球部

学校対抗 優勝
ダブルス 優勝 3S2 藤本将太 3J3 山泉貴義
準優勝 3J6 平下慧真 1J5 長谷川煌
第3位 3S1 倉澤遼 2J2 滝口陽琉
シングルス 準優勝 1J5 長谷川煌
第3位 3S1 倉澤遼
第4位 3S2 藤本将太

◆女子卓球部

学校対抗 優勝
ダブルス 優勝 3J6 匂坂恵唯 3S1 長谷川凜香
第3位 3K 坂西真由子 3J4 中澤侑佳
シングルス 優勝 3J6 匂坂恵唯
第4位 3S1 長谷川凜香

◆相撲部

団体 優勝
個人総合の部 優勝 2J5 石川陽斗
準優勝 3J3 里見成彦
第3位 3J1 丸橋翼
個人 80kg 級 優勝 3J3 大石悠生
第2位 2J1 吉田浩大
個人 100kg 級 優勝 2J5 石川陽斗

◆陸上競技部 (関東高等学校陸上競技選手権大会)

男子 3000m 障害 第2位 3J3 金子 遼
男子棒高跳 第5位 3K 齋藤 成輝
男子砲丸投 第5位 2S1 根岸 英汰
男子走幅跳 第6位 2J3 関口 我空
女子棒高跳 第2位 5-1 大豆生田 花音
女子砲丸投 第5位 3J6 小館 なみえ
女子棒高跳 第4位 1S 田島 あおい
女子棒高跳 第8位 6-1 藤井 美麗
女子砲丸投 第8位 1J1 皆川 美佳

◆少林寺拳法部

男子組演武の部 優勝 3S2 熱海泰志
3S2 日永空音

◆柔道部

男子個人 100kg 級 準優勝 3J1 亀井溪太
66kg 級 第3位 3J3 岸雷珠

◆トランポリン競技 (個人参加)

個人競技 A クラス女子 優勝
シンクロナイズド競技 A クラス 第2位
シンクロナイズド競技 B クラス 優勝
2K 高橋 纏

◆男子バスケットボール部

第3位

インターハイ出場クラブ

7月16日に全校で壮行会を行いました。

卓球部男女
陸上競技部
相撲部
少林寺拳法部
トランポリン (個人)



ラグビー部・サッカー部によるエール

こんにちは。私は今年度から樹徳高等学校の情報科に着任しました、松尾拓海と申します。担当授業は進学コース2年の「情報Ⅰ」を3クラス、進学コース3年の「データサイエンス」を4クラス担当しております。私が教員になろうと思ったのは、中学2年の時だったと思います。技術の授業で、パソコンで絵を描くことがあり、「パソコンがあればなんでもできる。面白いことを広く教えられる職業に就きたい。」と思ったことがきっかけです。高校時代は、アルバイトで稼いだお金のほとんどを中古のパソコンやサーバ、ネットワーク機器、パソコンの部品の購入に充て、購入しては分解して、部品を組み替えたりしていました。時には壊してしまうこともありましたが、こうした作業から、コンピュータの部品や動作について学ぶことができました。（今までに購入したPCは30台を超えます。）大学に進学すると、普通高校にも情報の科目があることを知りました。ちょうど学習指導要領（各科目で何を教えるべきか書いてある本）が改訂され、従来の「社会と情報」から「情報Ⅰ」に切り替わる時期でした。そこで私は、情報科の教員を目指して様々な勉強をしました。授業を担当している生徒には話しましたが、大学にいる頃は本当に様々なことに取り組み、また、遊ぶことにも一生懸命でした。多忙な時期では、日付が変わってから1時間かけて車で帰り、その日の朝7時過ぎには大学にいる、といった生活をしていました。私の過去を辿ってきましたが、大学にいる頃から現在も継続している一つの研究があります。それは、「学校現場における使いやすい情報共有基盤の開発」です。明照学園に限らず、どこの学校においても、Google Classroom を授業で活用しているところはかなりあります。同時に、授業以外の情報共有においても、Google Classroom は多く用いられています。その結果、生徒や関係者の個人情報を含む情報が漏洩する事案が発生しています。様々な秘匿度がある環境において、同一のツール・機能を使うことは、情報漏洩を引き起こす原因の一つとして考えられているのです。しかし、複数のツールを同時に使用することは、多くの人にとって負担です。そこで、機能ごとにアクセス権限を確実に設定でき、それらのデータが混濁せずに済む情報共有基盤があれば、これらの問題が減ると考えました。今年の5月で、開発を始めてから丸4年が経過しま

す。この4年間で管理機能の一部について開発が終了しました。そして5年目となる今年から、Google AI Studio を開発に導入することにしました。最初は AI を使用しても役に立たないだろうと思っていましたが、この2ヶ月で、授業支援機能の3つの機能を開発することが出来ました。作業側が各機能の要件定義を明確に行うことで、AI がその要件に沿ったアプリを製作してくれます。このような AI 伴走型のシステム開発を「Vibe Coding（バイブコーディング）」と言うようです。昨年までの AI では開発に使用することはほぼ不可能であったため、この半年で凄まじい進化を遂げたことになります。ただし、AI の技術が進化しているからと言って、システムエンジニアやプログラマが不要になるかと言うと、そうはならないと思います。理由として、AI が現状出来ることは、動作するコードとデータ構造の提示であって、実際に動作させるサーバなどの環境構築や要件定義は AI では不可能に近いからです。また、AI が提示してきたコードをそのまま使用しても、正常に動作しない場合が多いのです。その際、コードのどの部分がデータ構造と矛盾しているか、ファイルやフォルダのパスは合っているか、そもそもデータ構造に問題がないかを確認し、AI に修正を依頼したり、作業側自身で修正を行う必要があります。なので、AI を使う人間にそれなりの知識や技術がないと、AI に翻弄されて無駄な時間を過ごすことになります。3年生のプログラミングを担当していると思うのですが、自分で考えたり調べたりすることをせず、AI に丸投げしている生徒が少数ですがいます。その生徒たちが提出したコードを見ると、AI を使ったかどうか、ほとんど分かります。それらの課題を見て、「無駄な時間と労力だな。力が身に付いていない。」と思ってしまいます。プログラミングに限らず、他教科においても、すぐにAI を頼るのでは何の力にもなりません。ある程度まで自分で調べ、考える過程が必要なのです。生徒の皆さん、これを読んで、これまでの自分を振り返ってください。そして、過程を大切にせず、思考停止状態でAI を使用することは極力避けてほしいのです。情報技術は、上手に使ってこそ、勉強にも、仕事にも、そして自分自身の成長にも訳に立つのだと、ぜひ知ってもらいたいと思います。

〔情報科 松尾拓海〕

一貫校中学校だより 6年6色

1年生の様子について

1学年(25期生)は、「愛嬌・学力・思いやり」のスローガンのもと、それぞれが夢や目標に向かって、互いに切磋琢磨しながら日々努力を重ねている学年です。入学してから数カ月が経ち、最初は緊張や不安もありましたが、少しずつ互いの個性を認め合い、時には意見がぶつかることもありましたが、そのたびに理解を深め、助け合いながら成長してきました。

特に印象的だったのは、5月に行われた宿泊オリエンテーションです。全員が参加し、梅田の自然の中でさまざまな活動に取り組みました。初めての「樹徳スタイル」に戸惑いながらも、活動班で協力してウォークラリーやグループエンカウンターを楽しむことができました。ルールを守りながら共同生活を送り、協調性やマナーも身につけることができました。この経験は、学年目標である「Base-樹徳の基礎-」をしっかりと築く、大きな一歩となりました。

今後も「基礎の徹底」をテーマに、日々の学校生活に取り組んでいきます。誰にでも愛される元気な挨拶、困難にぶつかってもあきらめずに取り組む粘り強さ、自分に厳しく、他人に思いやりを持てる広い心。そうした人間力の土台を養い、学年全体が一枚岩となって、成長を続けていきたいと思えます。

これからの6年間、共に過ごす仲間たちが、互いに高め合い、一生涯の友として絆を深めていけるよう、「Team25」として前向きに歩んでいきます。

1学年主任 田村 香央莉

2年生の様子について

2年生(24期生)は、明るく、いろいろなことに積極的に取り組む生徒の多い学年です。樹徳中学校での1年を経て、樹徳の生徒としての自覚を持ち、学習や学校行事などに主体的に取り組んでいます。

担任団が大きく変わり、昨年度とはまた違った緊張感をもって1学期が始まりました。「将来の可能性を高めよう」を目標に、毎日の小さな積み重ねや成長を意識することを大切にしています。2月には立志式を迎えます。中学2年生は、多くの可能性を秘めており、これからたくさんの選択肢の前に立ちます。自分で立てた目標に向かって有意義な選択ができるよう、毎日の生活を大切にしてほしいと思います。

今年度は、いろいろな場面での活躍が期待される1年です。球技大会では、自分のクラスを応援し、相手を称え、他学年に声援を送る姿が印象的でした。8月に実施される高原学校では、昨年度の経験を踏まえ、1年生をリードする責任ある役割を担うこともあるでしょう。その他の学校行事や普段の生活においても、これまでの先輩からの良い伝統を受け継ぎ、また、後輩のよき手本となる姿勢が求められます。自分自身を大切に、同じように他の人も大切にできるような個人、集団になってほしいと思います。

6年間の一貫校での土台作りとなる2年目、勉強や部活動、学校行事、その他様々な場面での試行錯誤を繰り返し成長していく姿を自覚し、多くの人にも応援してもらいたいと思います。

2学年主任 岡村 祐一



5/14～15 1年生宿泊オリエンテーション
野外活動センターにて



7/11 球技大会

◆中学校球技大会(7/11)

樹徳高校の講堂にて球技大会が行われました。競技種目は、バスケットボール(男女別)とドッジボール(男女別と男女混合)でした。試合は、各学年共通クラス対抗で行われ、どのクラスも一生懸命ボールに向かい、白熱した試合となりました。結果は、樹徳中学校開校以来初めての引き分けとなりました。



幼稚園だより

日差しがじりじりと照りつける中、セミの声
が園舎の周りから鳴り響いている夏真っ盛りの
季節となりました。幼稚園では、梅雨明けの7
月18日(金)に1学期の終業式を終え、夏休
みに入りました。認定こども園になる前の幼稚園
の時代は、夏休みになると園児全員が休みに
入り登園して来ませんでした。なので、職員も
何だかほっとした気分になり、日頃なかなかで
きない仕事や、職員会議、研修会を行っていた
ものです。しかし、現在のように認定こども園
になってからは、夏休みに入っても、およそ7
割の園児が預かり保育で登園しますので、園児
も職員も夏休みになったという感じがしない状
況です。ですので、研修も職員の勤務の割り振
りを調整しながら行うように、通常の園生活と
ほぼ変わらなくなりました。それだけ、ご両親
そろって働いているご家庭が増えたということ
ですが、夏休み中の預かり保育では、ご両親に
安心してお仕事をさせていただけるように、お預
かりした大事なお子さん一人一人の健康と安全
に気を配りながら、お子さんが楽しく過ごせる
よう職員一同努めております。

◆一回り成長した「お泊まり会」

毎年、夏休みに入るとすぐに年長の子どもたち
は、一大イベント「お泊まり会」を実施します。
今年度は、終業式後の3連休明けとなった7月2
2日(火)～23日(水)に行いました。お父さん
やお母さんから離れてお泊まりするのは初めての
子どもたち。当日は期待と不安を胸に、大きな
リュックサックを抱えての登園です。玄関での別
れが親子ともにいつもとは違って感じられます。

初日は、相生町のパン屋さん、パンマーレさん
にご協力をいただき「パン作り体験」からのス
タートです。今まで経験したことのないパン作り
へのチャレンジですが、パンマーレのご主人に丁
寧に指導していただきながら、子どもたちは一生
懸命取り組み、有意義な時間を過ごすことがで
きました。今回自分たちで作ったパンが、翌日の朝
食になるということで、翌日の焼き上がりを楽し



お泊まり会②～薬剤師の仕事を知ろう

みに、パン作り体験は終了となりました。そし
て、昼食後の活動は、「薬剤師体験」でした。病
気になるとお世話になる薬のことや、病気に合
わせて薬を出してくださる薬剤師さんについて学
びました。今回は、3名の薬剤師さんにお世話にな
りながら、「薬剤師さんはどんなお仕事か？」を
知るためにお話を伺ったり、調剤体験をしたりし
ながら、薬を正しく使えるように活動しました。
今まで知らなかった世界がまた一つ増えました。
その後、大善寺に伺い、「おつとめ」を行いました。
理事長先生から講話を伺い、木魚をたたきなが
らのおつとめで、気持ちが引き締まります。そし
て、夕飯のカレーをみんなでわいわい食べた後
は、お楽しみのキャンプファイヤーと花火です。
充実した初日を過ごし、もうこの頃になると始め
の不安な気持ちは吹っ飛んでいました。

翌朝は、普段歩くことない幼稚園の周辺を散歩
し園に戻ると、昨日自分たちが作ったパンが届い
ており、子どもたちは大喜び。朝食時間に食べる
と、皆ニコニコ顔です。

不安を抱きながらスタートしたお泊まり会です
が、お父さんやお母さんと離れお友達と一緒に
チャレンジした初めての体験、縁日ごっこやキャ
ンプファイヤー、水遊びなどの楽しいイベントを
通して、たくさんの思い出ができました。また、
親元を離れて一夜を過ごすことができた自信は、
自立への一歩につながったことと思います。子ど
もたちの成長を2学期に生かしていきたいです。

園長 佐野 悦生



お泊まり会①～おいしいパンを作るう



お泊まり会③～楽しい縁日ごっこ

令和7年度入園児募集中

◎2歳・3歳・4歳児の入園をお待ちしています。

◎募集人員 2歳児 10名、3歳児 10名、4歳児 10名

○入園受付：1年を通して随時受付、入園できます。見学もいつでもできます。

○お問い合わせは、樹徳幼稚園 佐野まで。☎0277-53-5571

桐生市広沢町三丁目4475番地

ホームページ <https://www.jutoku.ed.jp/kinder>

8月(正命)の行事予定

日	曜日	高等学校(本校)	一 貫 校	幼 稚 園
1	金	校内安全点検	ミニ学校説明会・見学会① 中学リスデ② 高校リベハイ④ 中学学習支援期間② SSL優待講座②	預かり保育⑨ 安全点検日 WEB夏季研修会(～15日)
2	土		ミニ学校説明会② 中学リスデ③ 高校リベハイ⑤	開園日(預かり保育)
3	日			
4	月	私学中堅教員研修(～5日)		預かり保育⑩
5	火	授業料納入日		預かり保育⑪
6	水			預かり保育⑫
7	木			預かり保育⑬ 夏季研修会(初級講座)①
8	金	登校日 マイトリー基金抛金日 オープンスクール打合せ 日本私立小中校保護者連合会総会・20周年式典(東京)	登校日 5年AED講習会	預かり保育⑭ 夏季研修会(初級講座)② 保育料納入日
9	土	オープンスクール1		開園日(預かり保育)
10	日	オープンスクール2		
11	月	山の日		
12	火	振替休日(8/9) 三代目校長ご命日(四回忌)		給食停止による休園日
13	水	盂蘭盆会(～16日)		
14	木			
15	金			
16	土			
17	日			
18	月			預かり保育⑮
19	火		高校リベハイ⑥ 駿台中学生テスト(希望者)	預かり保育⑯ 私立保・認可園園長事務連絡会議
20	水		1,2年高原学校(富士山)(～21日) 4～6年河合模試 高校リベハイ⑦	預かり保育⑰
21	木	1,2,3年河合塾全統記述模試 全国高P連(三重)(～21日)		預かり保育⑱ 新採用教員研修会
22	金	始業準備(職員朝礼) 奨学生審査会①		預かり保育⑲
23	土			開園日(預かり保育)
24	日			
25	月	振替休日(8/10)	振替休日(6/21)	預かり保育⑳
26	火	始業式(大掃除・学年別一斉指導) R8教育実習希望者面接 ITS研修(13:15～)	始業式	2学期始業式 平常保育開始
27	水	探究・LHR	中学課題確認テスト	
28	木			
29	金	関東地区私学保護者会連合会総会(栃木)		幼交連主催交通安全教室
30	土		樹徳中学校模試①(保護者説明会)	開園日(預かり保育)
31	日			

行事予定は変更になる場合があります。ご注意ください。



桐生錦町一丁目

盛運橋薬局前

■樹徳コミュニティセンター「み法」

8月、9月の予定は未定です。

9月(正精進)の行事予定

日	曜日	高等学校(本校)	一 貫 校	幼 稚 園
1	月	校内安全点検 視聴覚教室 マイトリー基金拠金日 2年生修学旅行事前学習開始 運営委員会③		安全点検日 リズム・線 (年少)
2	火	後期教育実習開始 基礎力診断テスト		避難訓練 (地震)
3	水	探究・LHR 県校長会		英語・文字 (年長)
4	木	県高P連本部役員会・理事会		体育・文字 (年中)
5	金	授業料納入日 中高協会定例会 (樹徳)	中学 進研学力推移調査 2年AED講習会 十五夜飾り(～9日)	プール納め
6	土	秋季関東地区高校野球県予選開幕 3年ベネッセ駿台大学入学共通テスト模試 (～11日)		開園日 (預かり保育)
7	日		学校説明会②	
8	月	学年主任会⑤ 教科主任会⑤		リズム・線 (年少)
9	火	私学教科研修 (関学附)		文字 (年長)
10	水	探究・LHR		お茶のお稽古 (年長) ③保育料納入日 英語
11	木			体育・文字 (年中)
12	金	中学生入試体験プレテスト会場作成		お誕生会 (7・8・9月生)
13	土	中学生入試体験プレテスト	中学生入試体験プレテスト	開園日 (預かり保育)
14	日			
15	月	敬老の日		
16	火	就職選考 (入社試験) 開始		ボール投げ教室④ (年中・年長)
17	水	探究・LHR 日私中高連常任理事会/事務局長会議		私立保・認可園園長事務連絡会議 英語・文字 (年長)
18	木	朝礼 校内研修 (いじめ防止③) 制服アフターサービス	三越アフターサービス	体育・文字 (年中)
19	金			
20	土		土曜補習④ 6年駿べ共テ模試①	開園日 (預かり保育)
21	日		合同コンサート (中学音楽部・高校コーラス部)	
22	月	振休 (9/28)	振休 (9/7)	リズム・線 (年少)
23	火	秋分の日		
24	水	探究・LHR		英語・文字 (年長)
25	木	後援会役員会②	中学早朝自主学習 (～10/3)	体育・文字 (年中)
26	金		英検① (1次)	
27	土			開園日 (預かり保育)
28	日	オープンスクール3		
29	月	出欠統計提出		リズム・線 (年少)
30	火			

行事予定は変更になる場合があります。ご注意ください。



樹徳高等学校
樹徳中学校
樹徳幼稚園

〒376-0023 群馬県桐生市錦町一丁目1番20号
TEL 0277-45-2258 FAX 0277-47-1671 Mail j-koukou@jutoku.ed.jp

〒376-0022 群馬県桐生市稲荷町4-12
TEL 0277-45-2257 FAX 0277-45-2262 Mail j-chugaku@jutoku.ed.jp

〒376-0013 群馬県桐生市広沢町三丁目4475
TEL 0277-53-5571 FAX 0277-53-5572 Mail j-youtien@jutoku.ed.jp

Web <https://www.jutoku.ed.jp/>

発行責任者 野口 秀樹 印刷所 太陽印刷工業 (株)

夢は大きく 根はふかく